

授業科目名	保育内容（音楽表現）(A)			科目コード	K1203P09
英文名	Childcare (Music)				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	非常勤講師	担当教員名	大村 禎子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	1限目		
開講時期	3年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	子ども自らが主体的に関わっていくことが出来るよう、保育現場で使われている音楽遊びの体験をとおして、表現の相互関係を理解し、遊びを体得しながら音楽表現活動について学習する。				
キーワード	歌唱	表現			
到達目標	子どもの発達に応じた遊び方を適切で豊富な基礎知識、技能のもと保育現場において活用できるようにする。				
	他者と協同した音楽表現によるコミュニケーションを図ることができるようになること。				
	手遊びや子供の歌等の曲に合う声、動きで表現でき、その表現に適した楽器選びと演奏が出来るようになること。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業方法の説明（子どもの音楽的表現について）	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	保育における感性と表現力を育てる遊び（フレーズ）、評価方法、小学校音楽科との関連	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第3回	模擬保育における手遊びと表現（どうぶつガボット）	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第4回	模擬保育における手遊びと表現、動きのリズム（にんじんのたね）	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第5回	日本の子どもの歌についての歌と身体表現	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第6回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 楽器の演奏・遊び方、情報機器の活用	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第7回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 リトミックを取り入れた演奏	
	【予習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
	【復習】	
第8回	幼児が親しみやすい楽器を加えた活動 合奏の楽しみ方、情報機器の活用	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第9回	手作り楽器を作成し、具体的な保育指導法を考える	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	

第10回	幼稚園や保育園で歌われる行事の歌の動きと表現	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第11回	情報機器の活用を含めた子どもオペレッタの構成と作成	
	【予習】	
	【復習】授業で使った曲のピアノ伴奏の練習	
第12回	子どもオペレッタのグループ発表を行い、お互いを評価	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	子どもオペレッタの指導案作成（3才児、4才児、5才児）	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	子どもの遊び方の指導案の実践	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	課題発表	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	出席状況及び授業の態度(40%)、実技試験及び提出物(60%)により総合的に評価する。		
使用資料 <テキスト>	井口太代表著『新・幼児の音楽教育』(朝日出版社)	使用資料 <参考図書>	参考資料(楽譜等)を適宜配布
授業外学修等	各回で学んだことを復習してください。 筆記用具を持参してください。		
授業外質問方法	毎回の授業終了後		
オフィス・アワー			